

名古屋能楽堂

三月特別公演

狂言

「賽の目」(和泉流)
シテ 松田 高義

能

「花月」(金剛流)
シテ 加藤かおる

能

「邯鄲」(宝生流)
シテ 内藤 飛能



生誕百年 三島由紀夫
「能楽」という底流をめぐって

能楽はたえず私の文学に底流してきた。
能のもつメランコリー、その絢爛、その形式的完璧、
その感情の節約は、私の考へる芸術の理想を完備してゐた。

「日本の古典と私」*1

一炊の夢のごとき五十年すら彼には長く感ぜられたであろうか？
あるエッセーでは「天狗」を芸術家と擬えたが*2、天狗にさらわれ芸尽くしを見せる
しやれた能の少年は、作家と少し似ているのかもしれない。
結婚や自邸の新築、身体鍛錬とプライベートも話題に変えた時代の「スター」！
——多彩な面を持つ三島由紀夫と能楽をテーマにめぐってきた本シリーズは、謡曲を
現代化する試み「近代能楽集」で最初に取り組んだ《邯鄲》、十四世喜多六平太との対
談*3の中で名が出た《花月》《湯谷》《熊野》、優秀な智探しの喜劇《賽の目》で留めとな
る。

*1 決定版 三島由紀夫全集34、2003、新潮社、621～622P、*2 天狗道（1964）、*3 日本の芸術 能楽（1956）

令和8年

3月1日(日) 13:30開演 (12:30開場)

指定席 5,200円
自由席(一般) 4,200円
自由席(学生) 2,000円

12月23日(火)より
前売券発売

上:能「花月」 提供: 加藤かおる 下:能「邯鄲」 撮影: 工房円



能
花月(金剛流)

シテ 花月
ワキ 旅僧 花月の父
ア伊 門前の者

加藤かおる
飯富 雅介
井上 蒼大

笛 山村 友子
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村真之介

地謡 瀧澤由美子
田中 春奈
平澤由美子

熊谷真知子
伊藤 雅子
羽多野良子

狂言
賽の目(和泉流)

シテ 智
アド 有徳人
アド 太郎冠者
アド 何某
アド 娘

松田 高義
佐藤 友彦
今枝 郁雄
伊藤 泰
野村又三郎
野村小三郎
井上松次郎

後見 井上松次郎

仕舞
嵐山(金春流)

シテ 鬼頭 尚久

氷見 啓明
本田布由樹
前田 登
矢代 隆夫

仕舞
清経(観世流)

シテ 村井 邦子
伊藤 裕貴
松山 幸親
吉沢 旭

地謡 長田 郷
平塚 昭子
松井 俊介
福田 勝

能
邯鄲(宝生流)

シテ 盧生
子方 舞人
ワキ 勅使
ワキシレ 大臣
ワキシレ 興昇
アイ 女宿主

内藤 飛能
内藤 瑞駿
橋本 幸
橋本 正樹
高安 受壽
鹿島 俊裕
山村 友子
船戸 昭弘
河村裕一郎
加藤 洋輝

後見 衣斐 愛
坂口 侑

能勢 涉
石森 智幸
竹内 孝成
平田 正文
和久莊太郎

能「花月」(かげつ)

筑紫彦山の麓に住む左衛門という者は、七歳になった我が子
を失い、世をはかんで出家して諸国を行脚していた。ある春
の頃、都へ上り清水寺へ来て、花月と名乗る少年が、小歌を
詠ったり花を踏み散らす舞を射て落とそうとしたり、また清水
寺の縁起を曲舞にして舞ったりする。これを見た僧は失った我
が子であることを知り、親子の対面をする。花月は父に会えた
ことを喜び、七歳の時に天狗にさらわれて諸国を回ったこと
を、羯鼓を打ちながら語り、父と再会できた喜び
を語りながら父と共に仏道修行の旅に立つのだった。
この曲は花月という少年が遊狂を旨とする曲であり、また
花月は無邪気な愛すべき少年、終始爽やかで明るく
語れ進みます。また狂言との軽妙な言葉のやり取りも見ど
ろの一つです。(加藤かおる)

狂言「賽の目」(やいのめ)

美人の一人娘を持ったと自負する親が、娘の連れ合いを探すた
め算用に達した者(計算力に優れた者)を贅にしたい、という条
件を出して募集します。これを知った候補者が次々と親もとを
訪ねますが、「五百圓の賽の目の数はいくつ?」との問いに悪戦
苦闘し退散する始末。さてお眼鏡に叶う贅は現れるのでしょ
うか。

今も昔も変わらぬ学力社会、当時の世相において、算数を題材
にした演目が存在する事に驚きを感じさせます。また必要最
人数で展開する演出が特徴の狂言としては稀な、登場人物6人
を要する演目です。
さて皆さんはこの問題を解く事ができましたでしょうか?
(井上松次郎)

能「邯鄲」(かたん)

中国の蜀という国に盧生(シテ)という悩める青年が住んでい
ました。盧生は日々をただ漠然と暮らしていたので、楚の国の羊
飛山に貴い知識を持った僧がいると聞き、自分はどう生きるべき
か尋ねてみようという旅に出ます。羊飛山へ向かう途中盧生は邯
鄲の里で宿をとり、その女宿主ア伊に勧められて、粟の飯が炊
ける間「邯鄲の枕」でひと眠りする事にしました。邯鄲の枕は
女宿主がある時、仙術を使う御方を宿に泊めた時に貰ったもの
で、この枕で眠れば悟りを開く事が出来るという、いわくつきの
枕でした。

盧生が眠りにつくと楚の国の皇帝の勅使(ワキ)が呼びに来ま
す。なんと盧生に帝位を譲るために帝から遣わされて来たと言
うのです。盧生は天にも昇る心地で玉の輿に乗り宮殿に行きま
した。雲龍閣や阿房殿は光に満ちていかにも見事な庭には金銀
の砂が敷かれ門を出入りする人々も着飾り極楽の楽しみとこの
ような事かと思う様子が広がります。在位五十一年の祝宴にて
盧生は長寿をもたうと仙家の酒を授かり国士安穩を祝う舞人
(ア伊)の舞に続き自らも舞を披露します。春夏秋冬の草木も一
日の中に花が咲き面白くも不思議な時を過ごしていると突然目
の前の人々や景色は消えて、五十年に及ぶ栄華に酔いしれた夢
は女宿主の呼び声と共に覚めてしまいます。五十年の栄華も一
睡の夢に過ぎた。粟の飯が炊ける間の「炊の夢」だったのです。盧生は
この不思議な出来事から悟りを得て、さうに求めた理想の貴い知
識や答えはこの「邯鄲の枕」にあったのだと望みをかなえて帰っ
て行くのでした。

三月特別公演事前学習講座
2月14日(土) 14:00~16:00

受講チケット 500円

◆能「花月」・「邯鄲」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。
※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込み) *前売券発売日 令和7年12月23日(火)

	指 定 Reserved	自由 Non reserved	
		一般 Adult	学生(25歳以下) Student 25 and under
前 売 Advance sale	5,200円	4,200円	2,000円

* 学生券は25歳以下を対象とします。* 未就学児のご入場はお断りいたします。
* チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

* 事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は
400円引きです。(学生券の割引はありません。)
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088

* 前売券発売日当日は、お電話がつながりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387

(平日9:00~17:00/チケット郵送可)

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でも

お求めいただけます。

(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

チケットぴあ/Pコード538-090

* 外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ / 名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

公演についての最新の情報は
名古屋能楽堂ホームページを
ご覧ください。



<https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/>